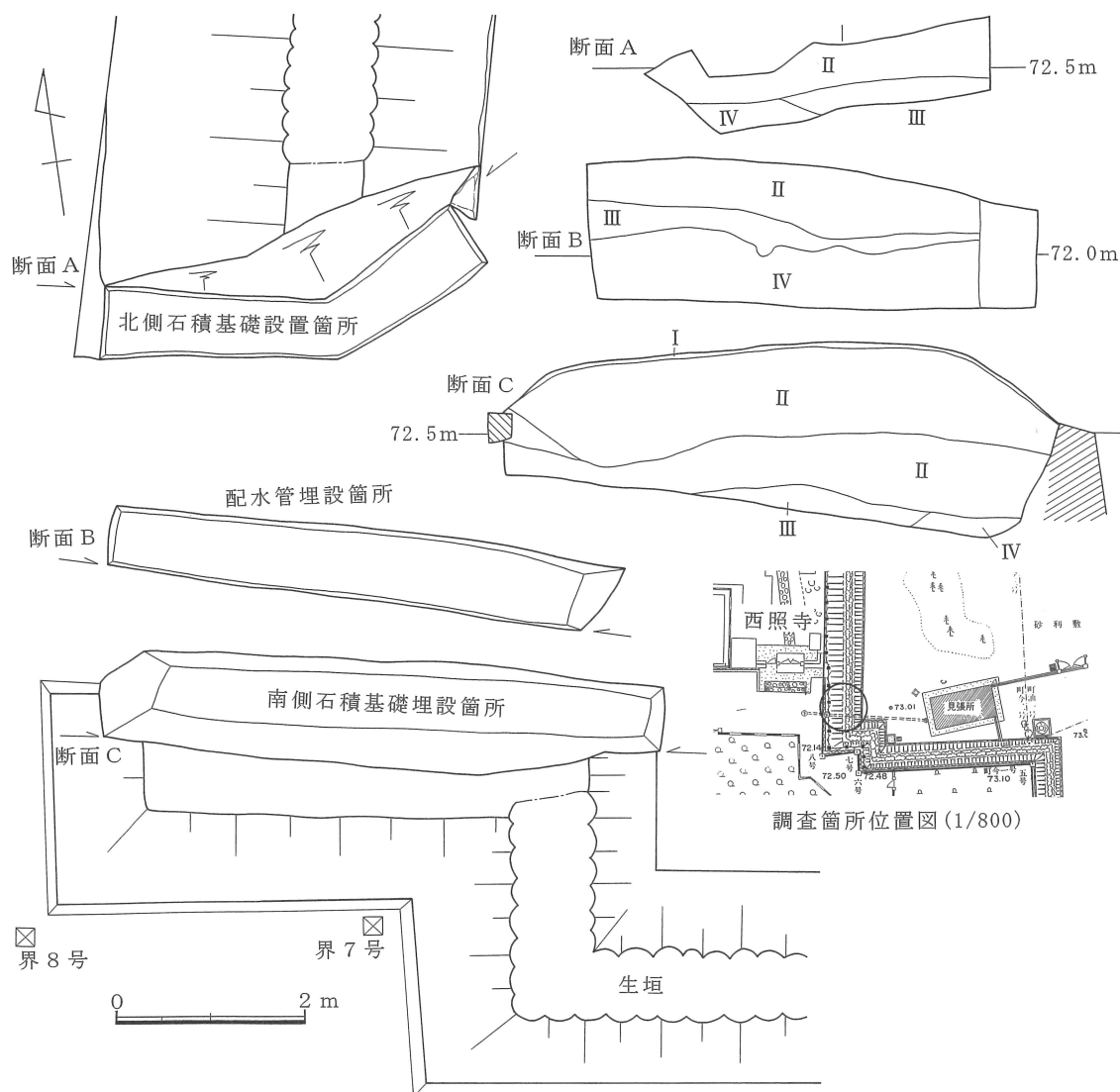




第33図 春日率川坂上陵 調査箇所位置図(1/800)および断面図・断面図(1/80)

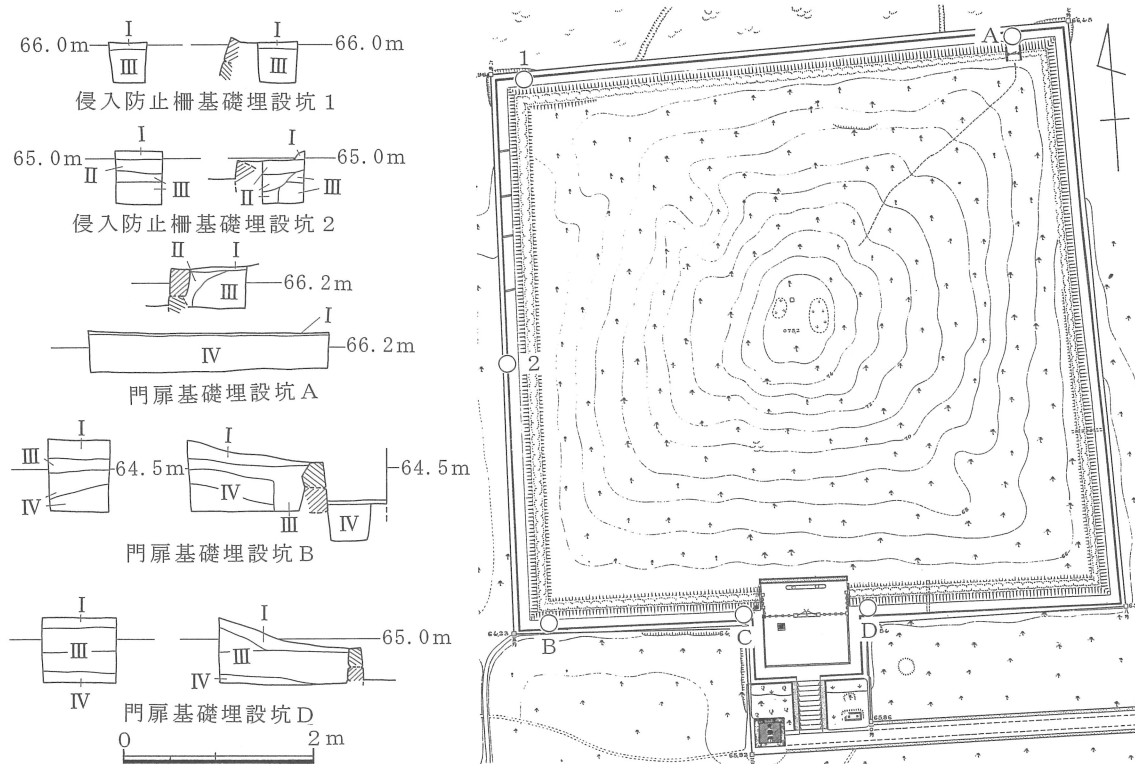
来目皇子 埴生岡上墓侵入防止柵設置区域の立会調査

本墓は、大阪府羽曳野市を北に向かって下る羽曳野丘陵上に位置する一辺約55mの方墳である。この度境界線に沿って侵入防止柵の設置工事を行うこととなり、平成15年3月17～20日の間、本部職員が立会い、その他の期間は監区職員が随時立ち会った。

設置区域は、北辺と西辺の延べ110mで、その間に1辺0.4m×深さ0.4mの侵入防止柵基礎埋設坑を57箇所掘削し、A～D地点では長さ2～2.5m×幅0.6m×深さ0.5～0.6mの規模で門扉基礎埋設坑を掘削した。第34図に主な断面図を提示したが、土層は上から、表土(I)、石積の裏込土(II)、盛土(III)、地山(IV)に分けられ、2通りの状況が観察された。ひとつは石積設置の際の掘形が確認できるもので(2・A・B)、II層中には石積を調整する際に生じたと考えられる剥片が多く含まれている。もうひとつは掘形が確認されず(1・D)、III層が石積と並行して盛られたと考えられるものである。基礎埋設坑CもDと同様である。地表面の高さが一定しないため、場所によって施工方法に違いが生じたのであろう。

各掘削箇所とも、遺構・遺物は認められず、工事は予定通り実施した。

(清喜裕二)



第34図 埴生崗上墓 調査箇所位置図(1/800)および平面図・断面図(1/80)